

『いっせいの』で解き放て! 思い描いたTHUMBNAIL

— 『もういっかい・まあただよ・もういっよ』 —

第030号(R08.07.10)

～ かけがえのない命 ～

5年生で実施した道徳授業をお伝えします。映像中心だったので、伝わりにくいかな。

1 人によって、命の重さは変わりますか。

★児童の意見

命の価値はみんな一緒である。

2 医者が一人しかいない病院に、Aさん・Bさん・Cさんの順番で3人が担ぎ込まれた。あなたが医者ならば、どのような順番で3人の治療に当たりますか。

【Aさん】足首の骨折・生存確率98%・7歳

原因→サッカーの試合で足を踏まれた。

【Bさん】腹腔内出血・生存確率50%・18歳

原因→制限速度50kmオーバーの交通事故・運転者は本人である。

【Cさん】全身やけど・生存確率10%・79歳

原因→通行人のたばこの投げ捨てによる火災である。

★児童の意見

順番はC→B→Aで、理由は79歳で10%しか生きられないからです。生きられる確率が低い順にしました。

順番はA→B→Cで、若者には夢があるからです。長生きした方がいいからです。

個人で考えたことをもとに、グループで話し合っ、考えをまとめました。A3用紙に考えを書いて、黒板に掲示した後に発表しました。

3 大震災が起きたときの映像の概要

患者が何十人もいる中で、医者が、「この人は診られません。生きる確率はほとんどありません。」「ちょっとしたけがの子供に、近くの救護所に行って下さい。」と患者を選び始めます。診療を断られた患者の家族、この医者立場になって、吹き出しに言葉を書きましょう。

★児童の意見

【家族】なぜ、こんなにひどいのに手術をしてくれないんだ。

【医者】それよりひどい患者がいるからです。助かる確率が低い患者は診られない。

「トリアージとは、病気やけがの緊急度や重症度を判定して、治療の優先順位を決めること」と、児童に説明をした。

4 震災の状況を把握した上で、「ここで文句ばかり言ってられない。自分ができることを探して、行動することが大切です。」と伝えられたら、あなたはどのような行動を取りますか。

★児童の意見

私は、けがをしている人に声をかけたりけがをしているのに見つからない人を探したりします。その理由は歩けるし、声も出せるから、自分でできる最大限のことをやった方がより多くの人を助けられると思うからです。

私は動けるなら動いて近くにいる診療が必要な人を運ぶのがよいと思います。その理由は、一人でも多くの人を助けられて、動けるならまわりの人を助けた方がよいからです。

5 授業で気付いたこと、感じたことを振り返りましょう。

★児童の振り返り

トリアージという言葉は初めて聞いて、意味も知れてよかったです。大地震が来たらどのように行動したらよいかを学べてよかったです。この勉強を活かして、このような場面になったとき、こんな行動をしてみたいです。

一人でも多くの人を助けるためには、歩ける人も歩けない人を助ける。一人でも多く助けるには多少の犠牲が必要になってしまうことがある。

先生は医者として考えていて、助けたい人や知っている人がけがをしても、最も助けが必要な人を助けていた。患者に何を言われても、最低扱いされても、自分にはあきらめない。泣いても人の気持ちがわかって、医者の任務を果たさなきゃならない。

トリアージの判断は難しいことだなと思った。今日の授業で命の考えが変わった。命はみな平等だけれど、理不尽に失ってしまうこともあるけど、命を助けようとしてくれた人を悪く言うのはやめたいと思った。

生命が大切なことに気付き、トリアージの難しさなどを冷静に乗り越える医者すごいと思った。トリアージと似たようなことが日常にもよくあるからがんばりたい。

人それぞれ命はある。そして、みんなの命は平等だから、災害があったときはできるだけ多くの命を救いたい。今の授業でそれを学んだ。